

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズサポートlien		公表日		R8 年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動療育施設であるため、十分なスペースが確保されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別で対応できるように、余裕をもって配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間はわかりやすい構造になっている。	床や壁などバリアフリーに適していない場所もあるため、段差や窓周辺など改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除を行っており、清潔な空間である。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良者や情緒的な面など、必要に応じて個室で対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定、振り返り共に職員全員で話し合い、共有している。	日よっての目標設定など、事前に把握できていないことがある為、事前に共有しておく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見を把握する機会を設けており、それを職員間で話し合い改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談やミーティングを行い、改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に外部から言語聴覚士や理学療法士をお呼びして、支援内容の評価・改善をさせていただいている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		zoomなどの研修の情報を共有、委員会を設置し、定期的に研修を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		契約時、モニタリング時に聞き取りを行い、それぞれのお子様に合わせてプログラムが適切に作成されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談を通じて、保護者とも深く関わりながら、客観的に支援計画を作成できている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で共通理解し、検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有され、それに沿った内容を支援できている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された評価も行いながら、コミュニケーションをとる中でインフォーマルな面も共有しあっている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			地域のイベント等に参加し、地域連携を深めていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で相談しながら、担当者が中心となって立案を行なっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		インターネットや、様々な研修から日々新しい活動に取り組み、固定化されないようにしている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の成長や様子を一緒に確認・共有していく事のできる場を設けていきながら、課題を設定し、計画の作成を行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の担当リーダーが活動前に他職員へ内容を伝える場・時間を設けている。	内容や役割を話し合っ活動を行っているが、送迎等で全ての職員に共有できない日もあったため改善が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動計画を振り返りながら、その日のうちに共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		リタリコにて個人記録を毎回残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、お子様の現状に沿った計画を作成できるよう努めている。	モニタリング日のお伺い連絡を出来るだけ早くお聞きし、もっと円滑に進められるようにしたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加する職員は固定化されることもあるが、理解した者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関は、提携先の登録をさせていただいている。また、利用児童の情報共有の為に、学校や保育園とも連携できる体制をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			その他機関との連携が少ない為、さらに支援内容等の情報共有を行う場を設ける必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学時の際に移行支援を通して、情報共有を行っている。	もっと事業所からの発信・連携の声掛けを行なっていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		今後連携を図れるようにしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人内で合同活動は行っているが、地域の幼、保育園との活動は行っていない。	近隣の保育園・幼稚園と連携をとりながら、交流していくことの出来る機会を設けていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEや送迎の際に、子供の情報共有を行っている。	しかし不定期な為、お子様、保護者様がさらに安心して通えるよう日頃の様子の情報伝達・共有がしやすい体制を整えていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご要望があった際に、個別で対応を行うことはあるが、家族支援プログラムとして研修会を開いていない為、そのような機会を設け	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用説明の際に確認を取りながら、説明を行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と情報共有をおこないながら作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			「児童発達支援計画」と「児童発達支援計画案」の区別がつかない保護者もいらしたので、具体的に分かりやすい説明ができるように改善していく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際に対応を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等を設ける必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応を行っている。	お答えが遅くなってしまうこともあるため、改善が必要。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを通じて活動内容等の写真や動画を送っている。	不定期な為数が少なくっており、改善が必要である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報になる写真などのSNSでの、取り扱いや使用しない書類などはシュレッダーにかけるなど十分に留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子ども、保護者ともに情報伝達が配慮できている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域な人を招待する活動を行っていない。 地域の事業運営に参加している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、研修等、定期的に行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		様々な災害に応じた避難訓練を定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについて共有を行なっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事象が起きた際にその日のうちに、ヒヤリハットを共有、記録している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				